令和３年度　美作市立英田小学校　学校だより　７月号

共に 伸びる 英田っ子

～かしこく・やさしく・たくましく～

自分で考えてやってみようとする児童・相手を思いやり伝え合おうとする児童

夏本番!!　1学期もまとめの7月に入りました。

新年度がスタートし、3ヶ月経過しました。1年生もずいぶん小学校生活に慣れ、生活場面を見ていると、たくましささえ感じます。上学年でも、体がぐんと大きくなり、存在感が一層増したり、落ち着いた雰囲気に変わってきたり、できないことがいつの間にかできるようになったりと成長を感じる場面がたくさんあります。

一方で、心身の成長とともに、友だちや大人との関係にも変化が生じてきます。友だちと仲良く遊べなくなったり、寡黙になったり、反抗的な態度をとったりするような時期もあるなど、小学校の6年間は、日々、驚くほど、変化の連続です。困った時、ケンカをした時、活動からはぐれている時、子どもに話を聞いてみても、誰一人として、友だちと仲良くしたくない子も、できなくていいと思っている子もいません。

私たち大人は、子どもの瞬間・日々をしっかり見つめ、一人一人の状況に合わせながら「見守り・励まし・共感」の態度と大人の務めである生活環境を整えることを忘れないようにしたいものです。

1年生　水遊び

2年生　新聞紙となかよし

3年生　グループで意見交換

4年生　ホタルの学習

5年生　ソーイング

6年生　租税教室

【第1回　「ぱっちり！　モグモグ！　パワーアップ大作戦」をふりかえって】

平成28年度から、児童自身が日頃の学習や生活の取組を振り返り、各家庭で果たす役割等を認識する機会として『ぱっちり！モグモグ！パワーアップ大作戦』を年3回（中学校の定期考査時期）実施しています。先般、第1回が終了しましたので、概略をお伝えします。下記の①～④についてカードに記入しながら、自身の生活を記録します。

①学習時間　②メディア時間　③各学年の重点目標に係る取組　④各家庭での取組

②のメディアについては、近年、「ノーメディア」を目標に取り組んでいましたが、令和2年度学校保健委員会、学校評価アンケート等で児童の生活の現状（学習にインターネットやタブレット活用等）とかけ離れてきた感覚が指摘されていました。

小学校では、学校教育目標達成に向け、「自分で考えてやってみる」態度を大切にしていることから、お楽しみメディア（ゲーム等）の時間を自分でコースを設定し、取り組めるよう変更しました。各家庭の御協力に感謝申し上げます。

学年	在籍数	提出者	提出率（%）	学習目標時間平均	メディア時間コース		
					０分	３０分	６０分
1	16	12	75%	39	0	11	1
2	11	10	91%	49	0	5	6
3	8	8	100%	44	0	6	2
4	20	18	90%	87	4	7	7
5	8	8	100%	113	5	0	3
6	15	11	73%	76	0	3	8
合計	78	67	88%	68	9	32	27

・約9割の児童が期限終了後、振り返りカードを提出しました。「お楽しみメディア０分コース」を選択する児童は1割程度にとどまり、改めて、児童の生活と余暇時間のゲーム等のメディア利用が密接なことを認識しました。

・児童や保護者の皆様からのコメント欄には、「はじめてこんなにがんばれた」（高・女子）、「たいへんだった」（低・男子）、「良く意識していた」・「自分で生活を考えていた」（保護者）などの言葉が記入されており、意識して生活することで、主体的に生活をデザインする力が育つことが期待されます。

（令和3年7月1日　学校長作成）